

精神保健福祉援助技術各論			～2011	科目コード	CR3138 CR3148
単位数	履修方法	配当年次	担当教員		
4	R or SR	2年以上	那須 裕悌		



※2011年度以前入学者に対して開設されている科目です。2012年度以降に入学した方は履修することはできません。

※本科目を履修登録する方も、下記記載の「■レポート課題」「■アドバイス」以外の項目は、p.231「精神保健福祉援助技術各論」(科目コード：CR3156、2単位)を参照してください。

■レポート課題

1 単位め	グループワークの原則と展開過程とについて述べなさい。
2 単位め	ストレングスを活用して行うケアマネジメントについて述べなさい。
3 単位め	『客観式レポート課題集』記載の課題に解答してください。
4 単位め	『客観式レポート課題集』記載の課題に解答してください。

(2018年度以前履修登録者) 2019年4月よりレポート課題の3・4単位めが変更になりました。『レポート課題集2018』記載の課題でも2020年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

■アドバイス

各論では、総論で学んだソーシャルワーク史、概念、目的、原理などを基にソーシャルワーク「スキル」の習得をめざしています。多くの実践事例を読み込み総論で得た知識とあわせ深く掘り下げて検討してみることを。さらに自分自身が精神保健福祉士だったらどのような方法、スキルを持って対処するのか、その根拠は何か等も考えてみましょう。

**1 単位め
アドバイス** 精神科領域の支援方法としてグループワークは、重要な位置を占めている。デイケアでのプログラム、病棟でのプログラム、地域生活の場でのセルフヘルプ活動策、対人関係の改善の目的で活用されている支援方法である。グループワークの原則を理解し、展開していくことが必要である。

**2 単位め
アドバイス** スtrenグスモデルのケアマネジメントは、利用者が本来持っている能力や環境の側の潜在的能力にも着目し、それを引き出し、活用したり、セルフケア能力を高めることに重点をおいており、自己効力感や自尊心と深く関係する視点でもある。



教科書をよく読み、『客観式レポート課題集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。